

■ フットケアワークショップのご案内

「胼胝や鶏眼、足潰瘍を繰り返す患者さんへの免荷療法 ～基本的な免荷療法を学び、適切な免荷材の使用を体験してみよう～」

2008 年の糖尿病合併症管理料算定を契機に、JADEN ではフットケア研修および研修修了者向けのプラッシュアップ研修を開催してきました。参加された方々から、臨床現場でフットケアを提供しても胼胝や鶏眼の再発、足潰瘍の再燃といった課題に直面することも少なくないといった声があがっており、免荷の必要性を感じていました。

本ワークショップは、第 1 部では形成外科医師による足病変と免荷療法、足や創傷のアセスメント、免荷の必要性および具体的な免荷方法について講義・実演を行う予定としています。さらに、第 2 部では特定行為研修を修了した皮膚・排泄ケア認定看護師による事例を用いた免荷療法の実際の解説と参加者同士での免荷材を用いた演習を行います。これにより、知識及びアセスメントの深化と技術の確実な習得につなげたいと考えています。

(企画担当: 曽根晶子(船橋市立医療センター)、吉田多紀(筑波メディカルセンター病院))

【ワークショップ開催詳細】

■開催日時: 9 月 21 日(日)

○第 1 部(13:30~14:30) 形成外科医師による講義と実演

▶講師: 寺部雄太先生

(IMS グループ医療法人財団明理会 春日部中央総合病院 下肢救済センター 副センター長)

(1) 講義: 足病変と免荷療法、足や創傷のアセスメント、免荷の必要性、免荷療法の実際

(2) 実演: 具体的な免荷方法

○第 2 部(14:45~15:45)

特定行為研修修了者 皮膚・排泄ケア特定認定看護師による事例検討と演習

▶講師: 鈴木由加先生

(千葉県循環器病センター 看護局 副看護局長 特定行為研修修了者皮膚・排泄ケア特定認定看護師)

▶ファシリテーター:

井出迫和美(東京通信病院)、江尻加奈子(大阪公立大学医学部付属病院)、尾上和子(杏林堂クリニック)、

杉本友紀(慶應義塾大学病院)、須森未枝子(山梨県立中央病院)、永瀬紗奈衣(JCHO 神戸中央病院)、

檜原直美(済生会横浜市東部病院)、村内千代(関西医科大学)

(1) 事例検討

① 参加者がグループ・ペアごとに提示された事例について足のアセスメントを実施し、免荷療法について
ファシリテーターと共に検討

② 講師による事例の解説

(2) 免荷材を用いた演習 *資材提供: 株式会社アルケア

■定員: 32 名

■参加要件: 免荷両方に困っており、第 1 部と第 2 部の両方(途中退出不可)に足を出して
ご参加いただける方

■申込受付: 2025 年 8 月 8 日(金) 正午から以下の URL もしくは QR コードからお申込みください。
先着順となります。 *参加決定者にはメールでご連絡します。学会当日の受付は行いません。

申し込みフォーム▼

<https://forms.gle/DgeV1cUrQ48ihkPn6>

